

第2章 現状分析と評価

1 5つのゴール

(1) 親子

楽しく子育て笑顔の子

本市では、平成20年に出生数476人、出生率10.81を示しています。全国の出生率（平成18年8.6）と比較すれば、高い出生率を示していますが、平成13年以降若干ではありますが、減少傾向を示していることが気になります。

出生時の体重が2,500g未満のこども（低体重児）は、在胎短く出生する早産や子宮内での胎児の体重増加が悪い子宮内発育不全が原因としてあげられますが、出生後に医療や保健の支援が必要です。低体重児の割合を見ると、平成13年から平成18年までは8~9%台で推移していましたが、平成19年は12.2%、平成20年は11.8%と10%を越えるようになり、今後の推移に注目する必要があります。

また、出生時のこどもの体重は、妊娠中の母体の健康・感染症、生活状況、飲酒、喫煙や妊娠中毒症などさまざまな要因が反映されます。加えて、出生後のこどもの発育にも影響が生じ、育児不安の原因ともなります。

妊婦の健康管理は、飲酒や喫煙が胎児に与える影響についての啓発活動や、妊娠中毒症の予防が一層重要であると考えられます。

また、日本では平成元年に合計特殊出生率（一人の女性が一生のうちに産むこどもの数）が急落した「1.57ショック」をきっかけに政府は少子化対策に取り組んできましたが、合計特殊出生率の下降は、歯止めが利きません。

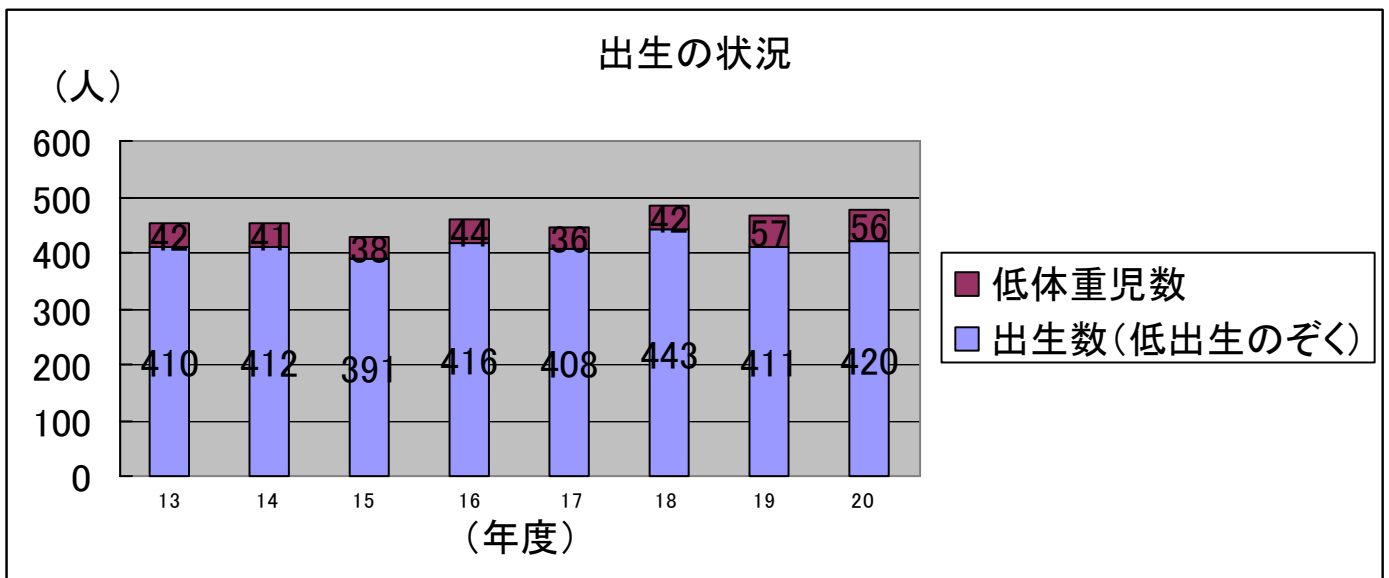
その後、平成20年の合計特殊出生率は1.37と3年連続の上昇となり、平成21年は横ばいの1.37にとどまりました。数少ない一人か二人の子育てでは、子育て経験の積み重ねもできず、育児書や他児の成長との比較により、育児に不安をもつ保護者は多いと考えます。育児のスタートの時期である乳児期における、育児相談や子育て支援体制の整備が必要であると考えられます。近年、こどもとその保護者を支援する行政サービスなどは、充実の傾向にありますが、関係機関との連携による個別の支援体制も、引き続き大きな課題となっています。

●高浜市の状況

「愛知県衛生年報より」

年（平成）	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	
出生数 （出生率）	452人 (11.74)	453人 (11.62)	429人 (10.81)	460人 (11.39)	444人 (10.74)	485人 (11.49)	468人 (10.84)	476人 (10.81)	
低体重児の数※ （構成割合）	42人 (9.3%)	41人 (9.1%)	38人 (8.8%)	44人 (9.6%)	36人 (8.1%)	42人 (8.7%)	57人 (12.2%)	56人 (11.8%)	
死亡した たこと もの数	1ヶ月 未満（再 計）	0人	0人	0人	1人	1人	0人	3人	1人
	1歳未 満（再 計）	2人	0人	0人	0人	0人	2人	1人	2人

※ 出生時の体重が2,500g未満のこどもの出生数を示す。



(2) 青年期

元気モリモリ今日も活躍

生まれてから死ぬまでの生涯を、「幼年期」(育つ)、「少年期」(学ぶ)、「青年期」(巣立つ)、「壮年期」(働く)、「中年期」(熟す)、「高年期」(稔る)の6段階に大別してみると、青年期は巣立つ時期にあたります。青年期の生活は、親に経済的な依存をしている学生から、社会人になり、社会人としての経験を重ねる時期にあたるため、さまざまな社会生活状況にあるといえます。

社会に保護される環境から、責任を持つ社会人へと、大きく環境が変わる時期であり、その生活スタイルも変化に富んだものとなります。

今回、生活習慣病アンケートを実施しましたが、20代女性の対象が少なかったため、詳細なデータはありませんが、前回策定時には、20代女性のやせの割合が、全国(23.3%)や、愛知県(21.6%)に比べ、高浜市は24.5%と高い数値を示しました。このことは、極端な「やせ願望」を持ち栄養バランスの崩れた食事をとっている危険性があります。

今後、こどもを生き育てる母親としては、妊娠前からの健康管理には十分に気をつけなければなりません。また、20代前半の骨密度量がその女性の一生の骨密度量に影響を与えることから、20代女性の栄養に関する啓発活動は、十分に行われることが望まれます。

(3) 壮年期

生活習慣改善ですっと健康

本市における平成 13 年から平成 20 年までの死亡者総数を見ると、270 人前後で推移している。その死因を見ると、全国の傾向と同様に 1 位がん、2 位心疾患、3 位脳血管疾患の順になっています。

また特徴として、肺がん死亡者数が特に高いことがあげられます。標準化死亡比 (SMR) ※10 をみても有意に高率をしめしているため、一層の肺がん健診受診の啓発活動が必要であるといえます。

※10 「標準化死亡比 (SMR)」

基準とした集団 (全国を基準集団) の年齢階級別死亡率をその地域の年齢階級別人口に乗じて総和したものの期待死亡数として、それに対するその地域の死亡数 (実際の死亡数) の比で表します。100 であれば全国と同レベルということになり、100 を下回れば全国より、低い死亡率となります。

●高浜市の状況

① 死亡者の状況

「愛知県衛生年報より」

年 (平成)	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
死亡者総数	253人	231人	268人	261人	287人	273人	256人	307人
がん	75人 (29.6%)	65人 (28.1%)	78人 (29.1%)	84人 (32.2%)	76人 (26.5%)	73人 (28.5%)	73人 (28.5%)	85人 (27.7%)
心疾患	39人 (15.4%)	33人 (14.3%)	47人 (17.5%)	39人 (14.9%)	55人 (19.2%)	34人 (13.3%)	34人 (13.3%)	62人 (20.2%)
脳血管疾患	29人 (11.5%)	32人 (13.9%)	34人 (12.7%)	34人 (13.0%)	27人 (9.4%)	31人 (12.1%)	31人 (12.1%)	40人 (13.1%)
その他	110人 (43.5%)	101人 (43.7%)	109人 (40.7%)	104人 (39.8%)	129人 (44.9%)	118人 (46.1%)	118人 (46.1%)	120人 (39.1%)

年（平成）	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
がん死亡者総数	75人	65人	78人	84人	76人	88人	73人	85人
胃がん	18人 (24.0%)	9人 (13.8%)	10人 (12.8%)	7人 (8.3%)	10人 (13.2%)	11人 (15.1%)	11人 (15.1%)	12人 (14.1%)
大腸がん	7人 (9.3%)	7人 (10.8%)	5人 (6.4%)	8人 (9.5%)	8人 (10.5%)	6人 (8.2%)	6人 (8.2%)	9人 (10.6%)
肺がん	14人 (18.7%)	19人 (29.2%)	22人 (28.2%)	29人 (34.5%)	24人 (31.6%)	20人 (27.4%)	20人 (27.4%)	19人 (22.4%)
その他 （※は再掲）	36人 (48.0%)	30人 (46.2%)	41人 (52.6%)	40人 (47.6%)	34人 (44.7%)	48人 (54.5%)	36人 (49.3%)	45人 (52.9%)
（乳がん）※	4人	2人	3人	2人	1人	1人	1人	5人
（子宮がん）※	0人	5人	3人	1人	1人	1人	1人	0人

② 特定健診・特定保健指導実施状況（国保分）

平成17年12月に策定されました「医療制度改革大綱」では、超高齢社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現が基本的な考えとして示されました。これを受け「老人保健法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改正され、平成20年4月から、医療保険者による「特定健康診査※11」・「特定保健指導※12」が義務付けられました。

ここでは、この制度改革に伴い、旧「老人保健法」による健康診査と新たな健診の比較ができないため、特定健康診査及び特定保健指導の受診率、利用率などを標記しました。

受診率については、全国や愛知県の数値に比べ、高浜市は、平成20年度が46.2%、平成21年度が、47.3%と高い割合を示しています。これは、旧「老人保健法」による健康診査を上乗せして実施しているため、受診率が高いものと考えられます。

健康診査の結果、メタボリックシンドロームの判定で、「該当」「予備群」になった受診者は、特定保健指導の「動機付け支援」※13「積極的支援」※13の対象者となります。その合計対象者割合は、全国や愛知県の数値に比べ、高浜市は平成20年度が14.2%、平成21年度が13.5%と、いずれも若干低くなっています。

高浜市の指導の利用率は、「動機付け支援」「積極的支援」ともに全国や愛知県の数値を上回っています。しかし、平成20年度に比べて、平成21年度は、利用率がいずれも低下しています。これは、健康診査を受ける人が常連化して、その結果も前年度と同様の傾向を示していることが多く、特定保健指導の勧奨をしても辞退される人の割合が増えてきたことがあげられます。

今後は、多くの人に特定健康診査の受診を勧奨することに加えて、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍となった人には、指導を受けて改善を促す啓発活動が引き続き必要であると考えます。

●高浜市の状況

「平成 20・21 年度法定報告より」

年度（平成）		全国	愛知県	高浜市	
		H20	H20	H20	H21
特定健康診査	対象者	22,550,174	1,192,901	5,969	6,084
	受診者	6,942,839	403,554	2,759	2,880
	受診率	30.8%	33.8%	46.2%	47.3%
特定保健指導	対象者	1,058,217	60,012	393	389
	対象者割合	15.2%	14.8%	14.2%	13.5%
動機付け支援	対象者数	768,502	44,583	303	277
	割合	11.1%	11.0%	11.0%	9.6%
	利用者数	176,768	7,122	118	83
	利用率	23.0%	16.0%	38.9%	30.0%
	修了者数	126,379	4,614	118	83
	終了率	16.4%	10.3%	38.9%	30.0%
積極的支援	対象者数	289,715	15,429	90	112
	割合	4.2%	3.8%	3.3%	3.9%
	利用者数	57,562	1,761	30	19
	利用率	19.9%	11.4%	33.3%	17.0%
	修了者数	29,722	879	23	13
	終了率	10.3%	5.7%	25.6%	11.6%

③ がん検診実施状況（平成 20 年度）

各がん検診の推計受診率を見ると、高浜市が愛知県の推計受診率を上回っているのは、胃がん（愛知県 17.9%、高浜市 20.8%）、大腸がん（愛知県 25.3%、高浜市 50.1%）及び肺がん（愛知県 30.0%、高浜市 68.1%）となっています。

逆に、愛知県の推計受診率を下回っているのは、子宮がん（愛知県 11.6%、高浜市 5.6%）及び乳がん（愛知県 13.0%、高浜市 9.3%）となっています。

一方、精検受診率を見ると、高浜市は愛知県に比べてかなり低い数値を示しています。特に子宮がんの精検実施率の 0% は気になります。今後も検診の結果「要精検」となった人には、精密検査を受診するよう積極的に啓発活動を展開します。

また、平成 21 年度から、未来への投資につながる子育て支援の一環として、一定年齢の人を対象に、女性特有のがん検診（子宮がん検診、乳がん検診）の「無料クーポン」と、がんについてわかりやすく解説した「検診手帳」を配布し、受診率の向上を図っています。

●高浜市の状況

「平成20年度各がん検診の結果報告より」

	推計対象者数 (人)	推計受診率 (%)	要精検者数 (人)	精検受診者数 (人)	精検受診率 (%)
胃がん検診(愛知県)	1,134,802	17.9	21,726	17,159	79.0
胃がん検診(高浜市)	8,096	20.8	163	70	42.9
大腸がん健診(愛知県)	1,134,802	25.3	22,947	15,287	66.6
大腸がん検診(高浜市)	8,096	50.1	359	145	40.4
肺がん検診(愛知県)	1,134,802	30.0	9,557	9,552	99.9
肺がん検診(高浜市)	8,096	68.1	84	84	100.0
子宮がん検診(愛知県)	1,005,426	11.6	1,724	1,237	71.8
子宮がん検診(高浜市)	7,421	5.6	7	0	0.0
乳がん検診(愛知県)	717,870	13.0	7,069	6,184	87.5
乳がん検診(高浜市)	5,228	9.3	62	31	50.0

(4) 高齢期

生涯元気でいきいき人生

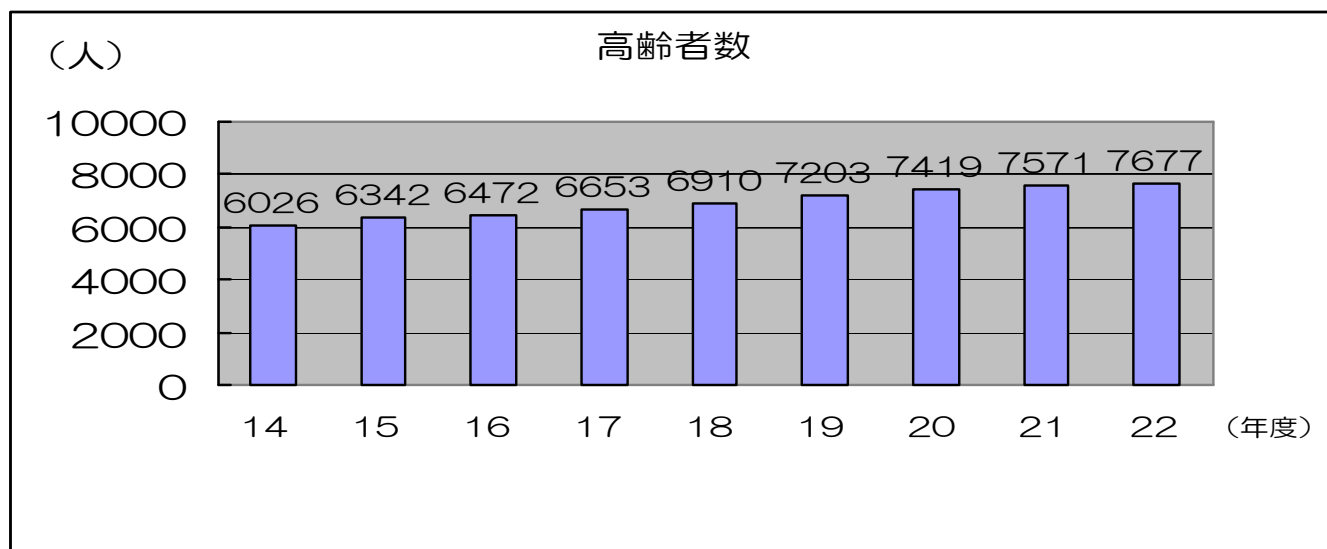
① 65歳以上の高齢者数及び高齢化率（毎年10月1日現在数値）

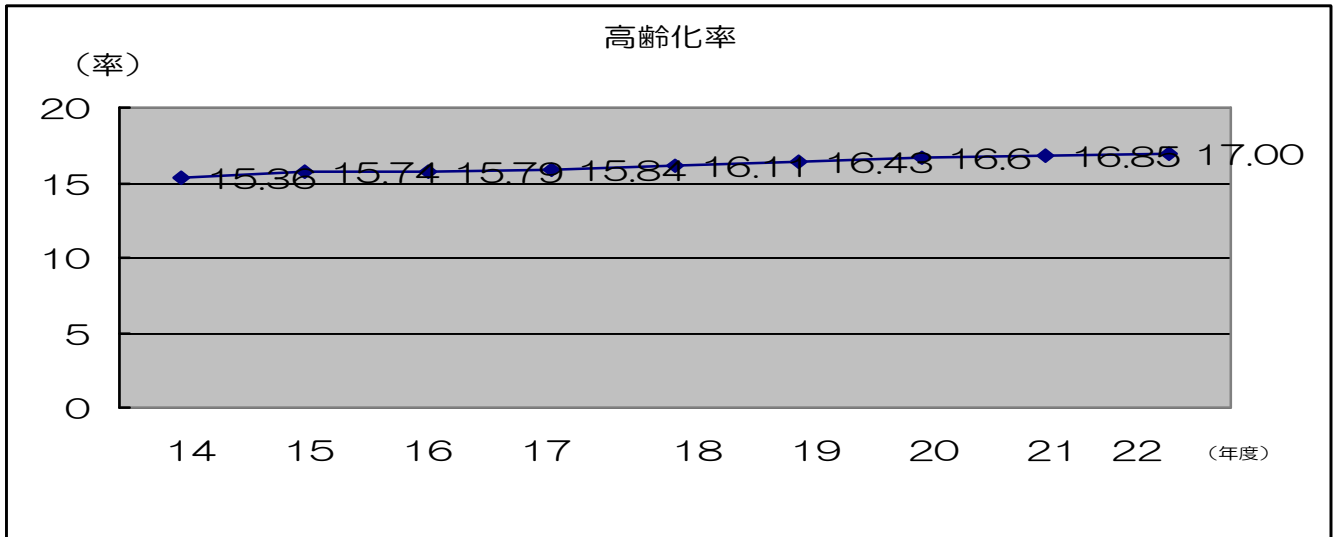
本市の高齢者の状況は、平成14年度の6,026人（15.4%）と、平成22年度の7,677人（17.0%）を比較すると、およそ1.3倍に増加しています。平成21年度版「高齢者白書」による全国の高齢化率は、22.1%ですので、これに比べると、本市の高齢化率はかなり低いといえます。しかし、高齢化率は年々上昇していますので、高齢者の健康管理は、本市にとっても大きな課題であるといえます。

●高浜市の状況

「年齢別人口統計表より」

年度(平成)	14	15	16	17	18	19	20	21	22
高齢者数 (人)	6,026	6,342	6,472	6,653	6,910	7,203	7,419	7,571	7,677
高齢化率 (%)	15.4	15.7	15.8	15.8	16.1	16.4	16.6	16.9	17.0





② 「要支援、要介護高齢者数」及び「認定を受けていない高齢者数」の状況（毎年10月1日現在数値）

本市の要介護認定状況は、平成14年度の814人と、平成22年度の1,308人を比較すると、およそ1.6倍に増加し、介護に陥らないための施策としての「介護予防事業」の充実が大きな課題であるといえます。

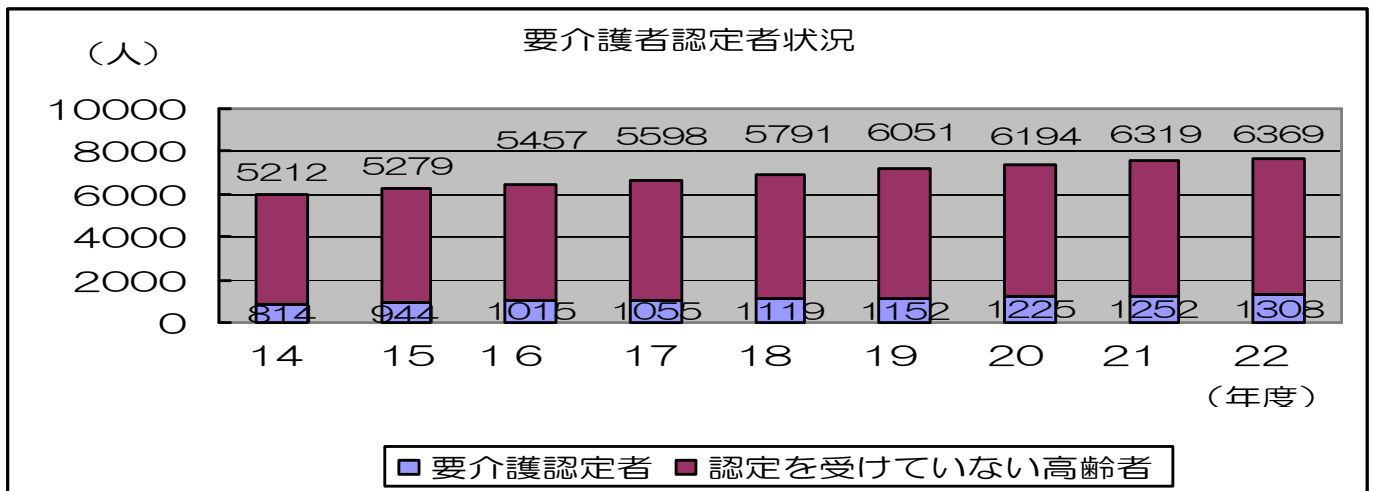
新たな高齢者の健康づくりの取組みとして、「いきいき健康マイレージ事業」を展開します。この事業は、健康志向の高い高齢者を対象に、「自分の健康は自分で作る」の理念のもと、積極的に健康づくりに励む高齢者を応援するものです。

●高浜市の状況

「介護保険事業状況報告より」

年度(平成)	14	15	16	17	18	19	20	21	22
要支援 経過的要介護					147	127	133	139	157
要支援1(人)	101	120	139	159					
要支援2(人)					121	186	202	213	202
要介護1(人)	258	342	380	370	263	194	238	246	274
要介護2(人)	160	153	141	142	166	183	162	179	209
要介護3(人)	94	112	127	137	143	161	180	197	165
要介護4(人)	100	113	118	125	142	150	142	133	145
要介護5(人)	101	104	110	122	137	151	168	145	156
合計(人)	814	944	1,015	1,055	1,119	1,152	1,225	1,252	1,308

※ 要介護認定区分の変更に伴い平成18年度から、要支援1、2で集計



年度(平成)	14	15	16	17	18	19	20	21	22
介護保険 認定者数	814 人 (13.5%)	944 人 (15.2%)	1,015 人 (15.7%)	1,055 人 (16.2%)	1,119 人 (16.0%)	1,152 人 (16.0%)	1,225 人 (16.5%)	1,252 人 (16.5%)	1,308 人 (17.0%)
認定を受けて いない高齢者 数	5,212 人 (86.5%)	5,279 人 (84.8%)	5,457 人 (84.3%)	5,598 人 (84.1%)	5,791 人 (83.8%)	6,051 人 (84.0%)	6,194 人 (83.5%)	6,319 人 (83.5%)	6,369 人 (83.0%)

(5) ま ち

地域で応援みんなの健康

① 健康づくり推進委員の役割

本市では、市内の地域単位に委嘱した「健康づくり推進委員」36人による市民レベルでの健康づくり推進活動を昭和56年から展開しています。推進委員は、健康づくりに関する知識の修得を行いながら、担当地域において市民の健康増進と啓発活動の推進役として活躍しています。

主な活動としては、地区文化祭に合わせた健康づくりのコーナーの開催、健康食の勉強会、健康体操、健康新聞の作成、ウォーキングなどを行っています。また、任期終了後も健康づくりリーダーとして、会員相互の学習や地区活動に自主的に取り組んでいます。これらの活動は発表会、健康フェスティバルで報告しています。

② 健康づくり推進委員による地区活動の状況

これらの健康づくりの活動が活発になることが、望ましいのですが、平成19年度以降は活動開催、参加者が大幅に減りました。これには二つの理由があります。一つ目は、「健やかな老年を考える読書会」の発展的解散により活動がなくなったことです。この読書会は、公務従事者やいくつかのボランティア活動を掛け持ちしている人が多く、メンバーの高齢化に伴い活動の整理がされました。もう一つの理由は、健康体操に代表されるように、健康づくり推進委員や健康づくりリーダー会の手を離れて地域の活動として成立していったものはカウントしていないため、参加者数が減少したものです。

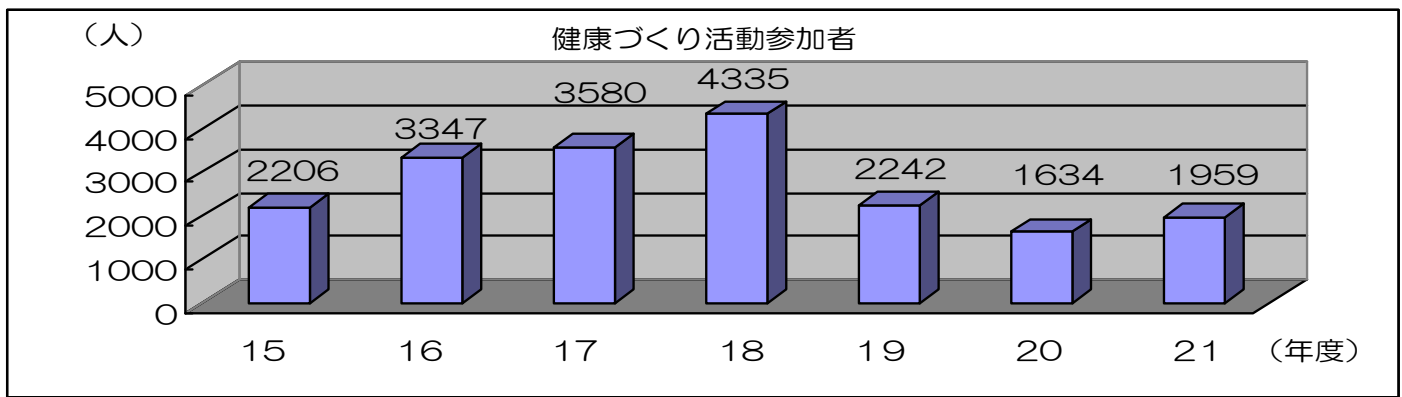
健康づくり活動は、栄養や運動のほかにも、心の健康づくりも重要な要素です。趣味的活動やアクティビティ、ボランティア活動といった「発端やきっかけ作り」が必要です。

恒例や定例の活動として、地域に根付くまでは、大変地道な活動ですが、一定の成果をあげてきているといえます。今後も、健康づくり推進委員や健康づくりリーダー会を中心にした積極的な健康づくり活動を支援します。

●高浜市の状況

「高浜市主要施策成果説明書より」

年度(平成)	15	16	17	18	19	20	21
健康づくり推進委員講習会(人)	229	218	156	239	168	173	171
健康づくりリーダー会活動(人)	605	538	534	505	468	223	293
健康づくり地区活動(人)	1,320	2,540	2,808	3,505	1,559	997	1,395
健康づくり運営委員会(人)	52	51	82	86	47	241	100
合計(人)	2,206	3,347	3,580	4,335	2,242	1,634	1,959



③ NPOやボランティアの状況

「健康たかはま21」の目指す姿は、「市民一人ひとりが主役となって自らが取り組む健康づくり」、「市民がお互いに助け合う健康づくり」、そして「地域社会や行政などが応援する環境づくり」であり、この取り組みが健康な地域社会（まち）につながっていきます。高齢者福祉分野では「自助」「互助」「共助」「公助」のシステムが展開され、市民が自ら健康づくりを進め、いきいきとした人生を送るための自覚が大切になっています。

地域が一体となって健康づくりを推進していくためにも、NPOやボランティア、自主グループへの活動支援と連携が一層重要になってきます。また、行政組織との連携協働も一層充実していく必要があります。

●高浜市の状況

団体名	健康・地区ボランティア活動に関する活動状況
NPO たかはま	宅老所運営事業、環境河川管理、施設公園管理など
NPO あかおにどん	地域交流拠点の運営、地域住民の創作活動支援など
NPO くりっく	IT 工房の運営、パソコン講座の開催など
NPO 全世代楽習塾	介護予防事業の実施、全世代交流事業、児童クラブなど
NPO たかはまスポーツクラブ	スポーツ施設関係指定管理事業・マシンスタジオ事業、各種スポーツ教室事業、地域協働活動事業など
お元気かい専属ボランティア	宅老所運営協力、介護予防事業の協力
鬼みち案内人の会	鬼みちのガイド活動

在宅ボランティア 各グループ	宅老所運営、社会福祉協議会行事協力など
その他	高浜市社会福祉協議会ボランティアひろばセンターには、全84グループの登録があり、多くの分野で活動しています。

④ まちづくり協議会の状況

本市では、地域でしか解決できない、あるいは地域で取り組んだ方がより良い方向に進むと思われる課題・事業に関して、必要な権限と財源を移譲し、地域の責任において自主的・主体的に実施する「地域内分権」を進めています。

この一環として、地域全体のまちづくりの担い手となる「まちづくり協議会」が平成17年度以降各地で順次立ち上げられました。現在、全ての小学校区で5つのまちづくり協議会（高浜南部、吉浜、翼、高取、高浜）が設立され、さまざまな活動を実施しています。

各まちづくり協議会主催の健康づくりのための健康体操、ウォーキングには、多くの女性が参加しています。今後は男性参加者の仕組みづくりや内容の工夫が必要です。

●高浜市の状況

名称	活動	活動状況など
特定非営利活動法人高浜南部まちづくり協議会	活動概要	チャレンジドの自立支援事業、介護予防に関する事業、子どもの健全育成に関する事業、地域の防災・防犯に関する事業、公共施設の管理等に関する事業
	拠点施設	南部ふれあいプラザ
吉浜まちづくり協議会	活動概要	環境保全の推進に関する事業、防犯対策に関する事業、防災対策に関する事業、子どもの健全育成に関する事業、高齢者のいきがいに関する事業、伝統文化の発展に関する事業、ふれあいプラザ運営事業、公共施設の管理等に関する事業
	拠点施設	吉浜ふれあいプラザ
翼まちづくり協議会	活動概要	防犯パトロール事業、防犯活動事業、防犯力・コミュニケーション向上事業、防災訓練推進事業、まち協マップ情報の管理事業、防災運動会事業、公共施設の管理等に関する事業
	拠点施設	翼ふれあいプラザ

高取まちづくり協 議会	活動概要	防犯パトロール事業、防災事業、あいさつ・声かけ事業、まちなか美化事業、稗田川「花と緑ふれあい公園」事業、お知らせ事業
	拠点施設	高取ふれあいプラザ（高取公民館2F）
高浜まちづくり協 議会	活動概要	絆深め合い事業、地域の「茶の間」運営事業、クリーン・グリーン事業、大山魅力アップ事業、わがまちお宝はくくつ事業、安気（あんき）なまちづくり事業、お知らせ事業、公共施設の管理等に関する事業
	拠点施設	高浜ふれあいプラザ

2 11 分野の指標評価

(1) 指標の評価判定区分と判定基準

「健康たかはま21」における各分野計画中の指標の進捗状況は、以下の基準に基づいて判定しました。

判定区分		判定基準	
A	達成	直近値が策定時の目標を達成している。	
B	改善	直近値が策定時の目標に達成していないものの、策定時基準値と比較すると改善している。	
C	横ばい・悪化	直近値が策定時の基準値より、横ばい・悪化している。	
D	1	判定不可 (指標変更等)	基準値・指標の変更により判定ができない。
	2	判定不可 (策定基準値不明)	策定時に基準値が設定されていないが、今回数値が把握できた。
	3	判定不可 (新規設定)	今回から、新たにデータ把握のできるようになった。
E	データがない	策定時以降新たなデータが把握できない。	

